

事業所による自己評価結果（公表）

評価対象：5名

公表：令和7年3月31日

事業所名：八千代市児童発達支援センター

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5			
	2	職員の配置数は適切である	2	3	・職種を越えて準備を手伝ってもらったり、部分フォロー等で補っているが不十分。	業務の精選を進めて限りある人材を有効に活用するとともに、配置基準に欠いた場合には遅滞なく職員の補充を進めます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	1	・掃除、消毒により施設内の清潔は保たれている。しかし、廊下に空調がないため夏場冬場は室温差が激しい。換気システム、教室の窓を開ける等で対応しているが不十分。	職員及び利用者様からのご意見を踏まえ、新施設として可能な限りお子様に適切な療育を提供できる空間づくりを目指して工夫して参ります。施設内の室温差につきましては、廊下に安全面を考慮した形でヒーターや送風機を設置する等可能な限りの対応を検討します。
事業改善	5	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	2	3	・今後意識して取り入れていきたい。	職員全体にPDCAサイクルを改めて周知するとともに、つくし面談や個別支援計画等療育活動において意識的に取り入れるようにします。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		5	・第三者による評価は実施していない。	現状第三者による外部評価は実施しておりませんが、職員及び利用者様からの事業所評価を改善につなげていくとともに、第三者評価の必要性についても今後の課題として検討します。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		・子どもの発達や関わり方等の研修が年に数回ある。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	1		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4	1		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		・定期的にクラス会議を行い、月ごとの活動を決めている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5			
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	5			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		・必ずその日の動きの確認をしている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5			

事業所による自己評価結果（公表）

評価対象：5名

公表：令和7年3月31日

事業所名：八千代市児童発達支援センター

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4	1	・定期的に発達評価と関係者会議を行っている。	年に二回行う発達評価を踏まえてモニタリングを行うとともに、評価内容を踏まえた個別支援計画の作成を徹底します。
関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	1	・必要に応じて母子保健課や子ども相談センター、保育所、幼稚園等と連携を図っている。	必要に応じ、他課及び関係機関と連携しながら引き続き支援を行います。
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	4			
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	4			
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		・学校の先生に来訪いただき、対面で引継ぎを行ったり、電話での情報共有をしている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5		・研修の参加や見学等の対応。 ・電話等でも情報共有をしている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5			
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	2	3	・保護者向けの研修は単発で実施しているが、ペアレントトレーニング等のプログラムが組み込まれたものは未実施。	・引き続き保護者様向け研修を実施していくとともに、ペアレントトレーニングの必要性を検討し、実施の可否を総合的に判断して参りたいと考えております。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5			
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			

事業所による自己評価結果（公表）

評価対象：5名

公表：令和7年3月31日

事業所名：八千代市児童発達支援センター

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	4	1	・個人情報を含む書類は鍵付キャビネットで保管している。	個人情報の記載がある書類は鍵のかかった書庫に格納したり、電磁的記録についてはパスワードを設定する等取り扱いには細心の注意を払うとともに、職員に対して個人情報保護に係る研修を受講するように奨励して参ります。
	39 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	3		
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3	2	・対応を考えて共有するようにしている。マニュアルの作成や訓練も検討したい。 ・緊急時対応マニュアル、防犯マニュアルは未策定。訓練も未実施のため要改善。	今後マニュアルの作成を遅滞なく行うとともに、訓練つきましても震災や火災のみならず多様な有事に対応できるよう工夫します。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		・定期的に避難訓練を行っている。	
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5			
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5			
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	1	・検討する必要があると思う。	ヒヤリハットが起きた際には、速やかに所長に口頭にて報告し、その後ヒヤリハットが起きた状況や改善事項を文書として整理し所内で共有しております。過去の発生状況及び改善事項についても共有することで事故が起らないよう努めます。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		・定期的に研修を行っている。	
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5		・やむを得ない身体拘束については組織的に決定することになっている。身体拘束とは異なる、座位保持装置等の適正な使用について保護者への口頭のみ確認で計画に記載されていない為、改善が必要。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。